

福島県における再生可能エネルギーの導入推進

資料3-3



- 「原子力に依存しない、安全・安心で持続的に発展可能な社会づくり」とする基本理念を掲げ、復興に向けた主要施策として再エネの飛躍的推進を位置付け、取組を進めている。

県内エネルギー需要に対する再エネの導入目標

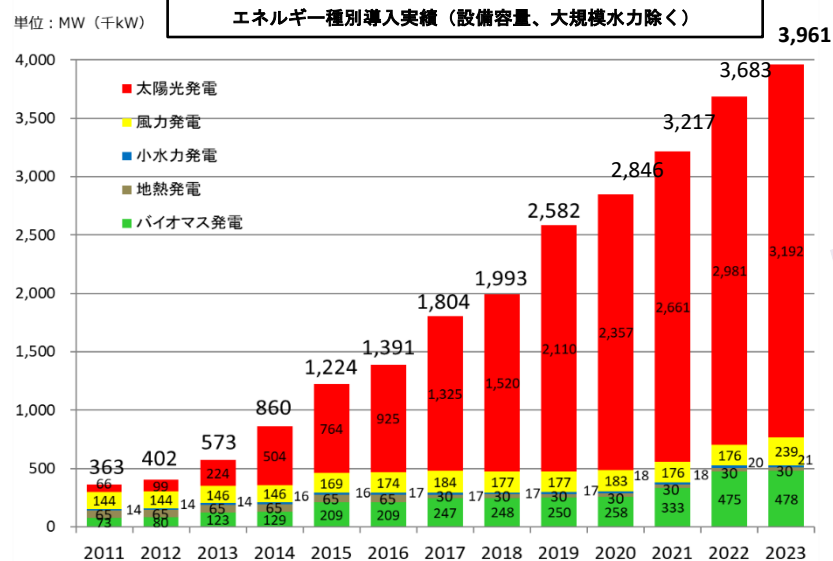
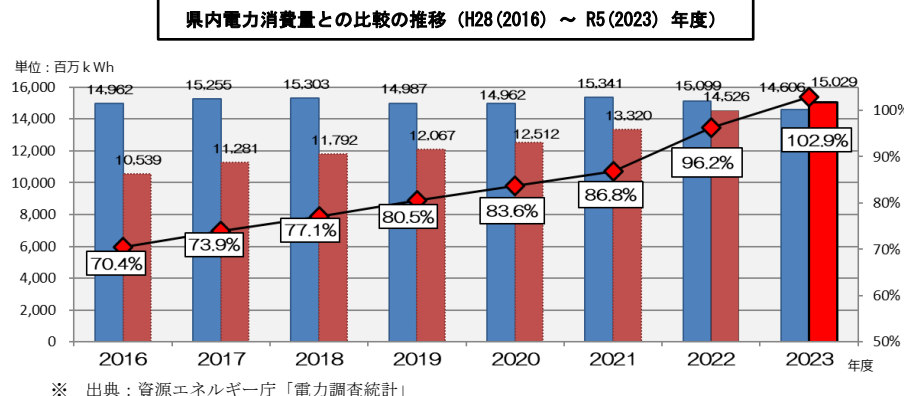
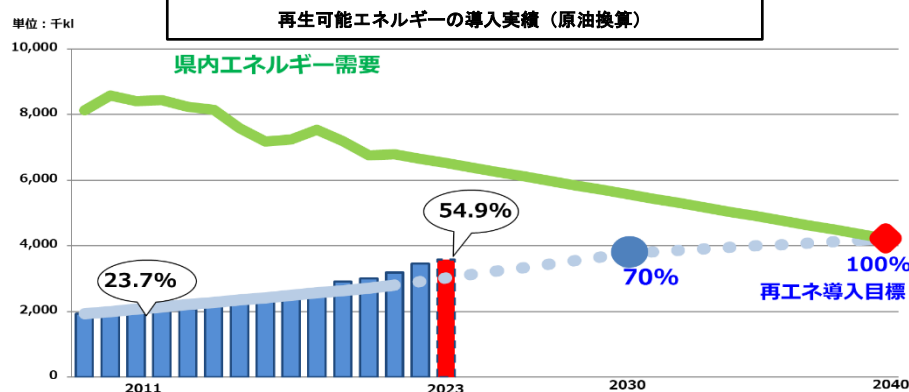
2030年度 70%、2040年頃 100%

実績：2023年度 54.9%

県内電力消費量に対する再エネの導入目標

2025年度 100%

実績：2023年度 102.9%



	県内の導入目標 (2030年度)	導入実績 (2023年度)
総 量	4,520	3,961
太 陽 光	3,300	3,192
風 力	720	239
小 水 力	20	21
地 熱	30	30
バイオマス	450	478

福島県における水素の普及状況等

令和7年9月
福島県

燃料電池モビリティ

- **燃料電池自動車**
 - 令和7年7月末時点で**464台**が普及（**東北最多**）。
- **燃料電池バス**
 - 令和2年4月より、**いわき市**において、**東北初**となる営業路線運行開始済。
 - 令和5年4月より、**福島駅東口～川俣高校前の路線**で、**県内2台目**の営業路線運行開始済。
- **燃料電池トラック**
 - 令和5年2月より、**郡山市及びいわき市**を中心に運用開始。**22台**導入済。
- **燃料電池移動販売車**
 - 令和4年6月、**浪江町及び双葉町**において運用を開始（**世界初**）。
- **燃料電池キッチンカー**
 - 令和5年3月、**郡山市**を拠点に県内での運用開始。
- **燃料電池スクールバス**
 - 令和5年4月、**浪江町**において運用開始（**国内初**）。
- **燃料電池営業バン**
 - 令和5年5月、**いわき市**において運用開始（**国内初**）。
- **燃料電池パトカー**
 - 令和6年12月、福島県警が運用開始（クラウンFCEVベースとしては**国内初**）。



出典：CJPT(株)



出典：イオン東北(株)



出典：郡山観光交通(株)



出典：浪江町



出典：(株)エナシア



水素ステーション

令和12年度までに定置式STを**20基**整備

- ふくしま移動式水素ST（稼働済）**
 - 営業地域：福島市、浪江町、南相馬市
 - 事業者：ふくしまハイドロサプライ(株)
- いわき鹿島水素ST（開所済）**
 - 整備地域：いわき市
 - 事業者：根本通商(株)
- 郡山水素ステーション（開所済）**
 - 整備地域：郡山市
 - 事業者：佐藤燃料(株)
- 伊達重機水素ST（開所済）**
 - 整備地域：浪江町
 - 事業者：(株)伊達重機
- Dr. Driveセルフ福島北幹線店水素ST（開所済）**
 - 整備地域：福島市
 - 事業者：ENEOS(株)
- 本宮IC水素ステーション（開所済）**
 - 整備地域：本宮市
 - 事業者：日本エア・リキード(同)



出典：ふくしまハイドロサプライ(株)



出典：根本通商(株)



出典：佐藤燃料(株)



出典：(株)伊達重機



出典：ENEOS(株)



出典：日本エア・リキード(同)

工場における水素活用に係る実証（県事業）
・**日東紡の福島工場**にて、水素バーナーの活用に係る実証事業を実施。

福島大学 水素エネルギー総合研究所
・バイオマス資源に着目した水素製造、貯蔵、利用等に関する研究開発や人材育成を実施。

FREA（福島再生可能エネルギー研究所）
・再エネ、水素等に関する研究開発を実施。
出典：FREA

工場における水素活用に係る実証（NEDO事業）
・**住友ゴム工業の白河工場**にて、水電解装置・水素ボイラーを設置し、水素を活用したタイヤの製造に関する実証事業を実施中。

工場における水素活用等に関する実証（NEDO事業）
・**デンソー福島工場**にて、水電解装置の設置、ガス炉における水素の活用等に関する実証事業を実施中。
・**ヒメジ理化学工業**に水電解装置が設置され、発生する水素及び酸素をガラス製品製造に使用する予定。

そうまIHIグリーンエネルギーセンター
・水素等に関する研究開発を実施。
出典：(株)IHI

既存ガス導管における水素活用に係る実証（NEDO事業）
・**相馬ガス**にて、既存LPガス導管への水素混合の実証事業を実施中。

燃料電池ドローン開発（県補助）
・**ロボデックス**が水素充填技術確立を目指す。

柱上パイプライン実証（経産省補助）
・**ブラザー工業**等により、技術的課題等を調査。

福島水素エネルギー研究フィールド
・世界有数の規模の水電解装置を有する再エネ由来水素製造実証施設。
福島水素充填技術研究センター
・大型の燃料電池モビリティへの大流量の水素充填技術・計量技術に関する技術開発を実施。（NEDO事業）

燃料電池ドローン開発（県補助）
・**OKUMA TECH**が小型燃料電池量産を目指す。

定置式燃料電池

- FH2Rで製造された水素等**を利用して稼働
- あづま総合運動公園（100kW）**
 - 県が設置
 - Jヴィレッジ（700W）**
 - 県が設置
 - 道の駅なみえ（3.5kW）**
 - 浪江町が設置（経産省のスマコミ事業）
 - いこいの村なみえ（50kW×2）、ふれあいセンターなみえ（50kW）、復興事業現場事務所（8kW）**
 - (株)大林組が設置（環境省事業）
 - （株）T T K鹿島営業所（50kW）**
 - (株)ミライト・ワンが設置



地域の動き等

- 福島県における水素社会のモデル構築に向けた産学官連携会議
- 福島県水素モビリティ・ステーション検討ワーキンググループ
- 燃料電池商用車の導入促進に関する重点地域
- 国家戦略特区（県内における圧縮水素の貯蔵量上限の緩和）
- 福島市水素社会実現推進協議会
- 郡山市水素利活用推進研究会
- いわき水素エネルギー利活用研究会、いわきバッテリーバレー構想
- なみえ水素タウン構想
- チームやぶきWG、地産地消型の小さな水素社会構築WG
- 福島県水素ステーション連絡協議会
- カーボンニュートラルポート（CNP）